

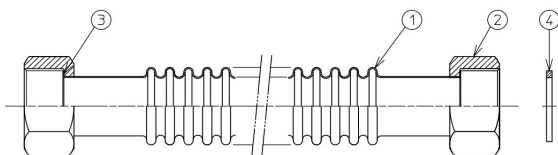
# フレキシブルチューブ 施工要領書

# ワンダーチューブ・ワンダーブレード



施工手順

## 1. 作業前の確認



ワンダーチューブの形状

表1 部品表

品番	部品名	材質
1	チューブ	SUS316L
2	袋ナット	C3604BD ※1
3	リングシート	PTFE
4	パッキン	ノンアスベスト ※2

※1 袋ナットの種類: C3604BD, CAC406, SUS304

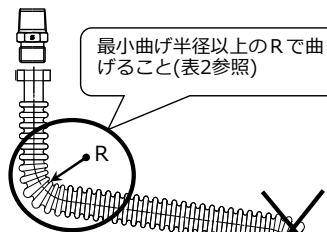
※2 パッキンの種類: ノンアスベスト, NBR, EPDM, PTFE

施工前に次の事項についてご確認下さい。

- 口径、長さが適正か
- シール面に損傷が無い

## 2. 配管への取り付け

① チューブを所定の形状に曲げる。



最小曲げ半径以上のRで曲げること(表2参照)

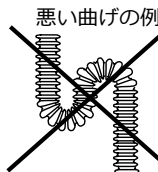
表2 最小曲げ半径

口径	最小曲げ半径 (mm)
1/2"	45
3/4"	60
1"	75
1 1/4"	96

ワンダーチューブの場合は、直管部端から3山分を曲げないこと

⚠ 局所的な曲げは避け、引張り、圧縮、ねじれ、折れなど無理な力が加わらないよう所定の形状に曲げて下さい。

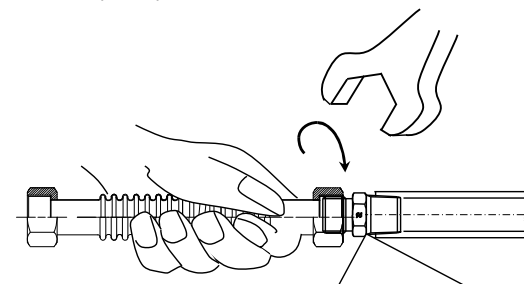
② パッキンが装着されていることを確認し、袋ナットを配管側ねじ部へセットする。この際、袋ナットは手締めとする。



③ 他方も同様に取り付ける。

## 3. 袋ナットの締め付け

① チューブを手で固定し、フレキ本体にねじれが発生しないよう注意してスパナ等で袋ナットを手締め状態から1/4~1/3回転程度締め付けます。



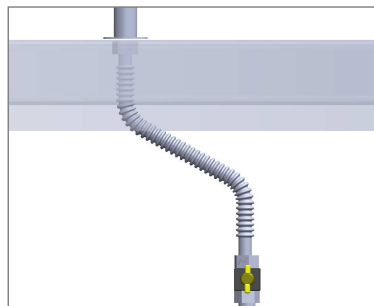
本締めの際、接続先のニップルやバルブが共回りしない様に注意して下さい。ねじれの原因となります。また、接続する継手はストレート側(パッキン面側)からねじ込んで下さい。

表3 締付トルク

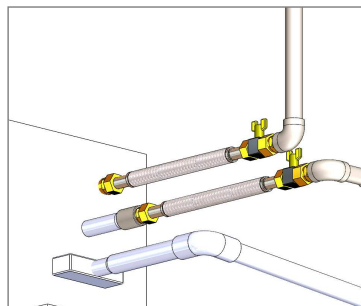
トルクレンチを使用する場合、表3の値を目安に締め付けて下さい。

口径	締付トルク
1/2"	19.6N・m
3/4"	24.5N・m
1"	29.4N・m
1 1/4"	34.3N・m

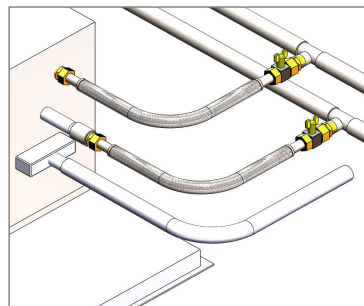
## 設置例



ワンダーチューブ  
シンク給水管 施工例



ワンダーブレード  
ファンコイルユニット  
施工例① 直線取付



ワンダーブレード  
ファンコイルユニット  
施工例② 90度曲げ取付

## ⚠ 注意事項

- ウォーターハンマーの発生が懸念される配管系では、フレキが損傷する恐れがあります。適切な衝撃防止対策を行って下さい。また、フレキ両側の配管をフレキ近傍でしっかりと固定して下さい。
- 配管の溶接作業は、フレキ取り付け前に施工して下さい。やむを得ず製品取り付け後に溶接や溶断をする場合は、溶接電流が流れないように、適正なアースをとり、製品に保護カバーを被せて下さい。
- 管内流速(内径基準)が3m/secを超えない様に口径を選定して下さい。
- ステンレスに対して腐食性を有する流体については、ZTFシリーズ(フッ素樹脂製)をご使用下さい。
- 袋ナットの締め付けの際には、製品がねじれない様ご注意ください。寿命を縮める原因となります。
- 製品長が長くフレキが垂れる恐れがある場合は、長さや取付形状の見直し、もしくは吊り支持などの垂れ防止策を行って下さい。  
※吊り支持設置の目安: 直線取付の時は製品長が600mmを超える場合。曲げ取付の時は、曲げ箇所から端部までの距離が350mmを超える場合。